

令和8年二十歳を祝う会



もり ふうが さん
森 楓雅 さん

本日はご臨席賜り、誠にありがとうございます。町長、議長をはじめご多忙の中ご臨席くださいましたご来賓の皆様、日頃からご支援くださる教育関係者の皆様、そして私たちを育てくださった家族・地域の皆様に、深く御礼申し上げます。

ただ今より、二十歳を代表してお話をさせていただきます。こうして二十歳を迎えた今、改めて感じるのは「私たちは多くの人に支えられてここまで来た」ということです。決して一人の力だけでは今日のこの日を迎えることはできませんでした。家族がいて、友人がいて、地域があつてその中で私たちは守られ、励まされ、時に叱られながら大人への道を歩んできました。

私たちの世代は、これまで当たり前だと思っていた日常を突然失いました。新型コロナウイルス。放課後のグラウンドに響いていた声も、汗にまみれて笑い合った日々も、ある日を境に途切れしました。

コロナの影響で中学校総合体育大会がなくなり、仲間と最後まで走り抜けることができなかったあの夏。どれだけ努力してきたものの証を残すことができないその現実を前に、胸の奥が締めつけられるほど悔しかったのを、今でもはっきりと覚えています。けれど、皆さんの隣や周りにいる友人、仲間との悔しさを乗り越えてきたからこそ、私たちは今日ここに立っています。会えない日々の中でも支えてくれた家族や、見えないところで私たちを守ってくれた地域の方々がいなかったら、この「二十歳を祝う会」を迎えることができませんでした。あの頃の想いを胸に、今ここで皆と同じ時を過ごせること、それが何よりの幸せだと感じています。

大河原という町で育った私たちは、四季折々の自然や地域の人々の温かさに包まれながら成長してきました。この町には、支え合い、助け合い、笑顔で声を掛け合う文

化があります。私たちも、これからは「支えられる側」から「支える側」へと立場を変え、この大河原の未来をつくっていく責任があります。

大人になるということは、単に年齢を重ねることではなく、自分の行動や言葉に責任を持つこと。そして、自分の幸せだけでなく、周りの人の幸せを考えられるようになることだと思います。社会の中で生きる以上、思い通りにいかないことも、壁にぶつかるともあつてしまう。しかし、これまで支えてくださった方々そして何より、どんな時も私たちを信じて見守ってくれた家族への感謝を胸に、一歩ずつ前へ進み続けていくことこそが、私たちの成長であり、恩返しだと思います。

これからの時代は、答えが一つではない時代です。価値観も生き方も多様化し、何が正解なのか分からないことも増えていくでしょう。けれども、どんな状況でも「誰かを思いやる心」「感謝を忘れない姿勢」「さえ持ち続けていければ、きっと自分らしい道を歩むことができるはず」です。私たちはコロナ禍という困難を経験した世代で

本日は、二十歳という門出に際し、このような晴れやかな式典を開催していただき、誠にありがとうございます。また、町長はじめ、ご来賓の皆様、そしてご出席いただきましたすべての皆様には、ご多忙の中、ご臨席賜り、温かいお祝いと激励の言葉をいただきましたこと、二十歳を代表し、心より御礼申し上げます。

皆様の温かい祝福の中、「大人」という重みを胸に、人生の新たな一歩を踏み出せる喜びを、今、深く噛みしめております。

私たちが生を受け、早20年。本日、大人としての仲間入りをいたしました。小・中学生時代を遊び、学び、時にはぶつかり合った懐かしい顔ぶれが揃っています。あの頃を振り返ると、改めて大人になったことを実感でき嬉しく思います。小学校で初めて友達と協力した運動会の感動、中学校で日が



なかだ さら さん
中田 沙良 さん

暮れるまで汗を流した部活動、そして、夜遅くまで励まし合った受験期間。私たちは、幼い日々の中で、たくさんの知識とともに、困難を乗り越える力、そして何より「仲間を思いやる心」を育んできました。本日、こうして皆様と共に、成長の軌跡を分かち合い、改めて成人を迎えた喜びを実感できることは何にも代えがたい感慨深さがあります。私たちが、今日ここに立つことができるのは、決して私たち自身の力だけではありません。どんな時も無償の愛で私たちを育み、支えてくれた両親や家族、そして、時には厳しく、時には優しく、私たちを見守ってくれた先生方、地域の皆様のおかげです。特に私たちのことを、20年間、健康で元気に育ててくれた両親へ感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんの苦勞を乗り越え、たくさんの愛を与えてくれた両親へ、心から「ありがとう」を伝えたいと思います。これからは、身近にいる大切な人への感謝の気持ちを忘れず、私たちが受けてきた愛や恩を一つ一つ形にしてお返しできるような努力を重ねてまいります。

私は現在、大学で、看護師と救急救命士の資格取得を目指し、学業に励んでいます。私たちの社会は今、「2025年問題」という少子高齢化の大きな課題に直面

し、医療・福祉の現場にも大きな影響が及んでいます。将来、助けを必要としている方々の心に寄り添い、不安な状況にある方々に安心感を与えられる存在になりたいです。これからは、愛を受ける側から与えていく側へと成長し、地域、そして、社会に貢献できるよう、日々精進してまいります。これまでの20年間で得た多くの経験を糧に、私たちはそれぞれの選んだ分野で知識とスキルを磨き、社会貢献できるよう、自己成長していく所存です。人生にはきつと辛いことや苦しいこと、高い壁にぶつかることもあるでしょう。そんな時には、地元、大河原に戻り、家族や友達などと再会し、温かな人情に触れることで、私たちの新たな活力となり、再び歩み出すための原動力となることを願っています。

最後になりますが、私たちは今日より社会の一員として自覚と責任を持ち、感謝の気持ちを忘れず、日々精進していくことを誓います。まだまだ未熟な私たちですが、今後とも皆様の温かいご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。そして、本日お集まりいただきました皆様の一層のご健勝と、この大河原町の更なる発展をお祈り申し上げます。二十歳代表の挨拶とさせていただきます。

二十歳を祝う会実行委員のみなさん

